



平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 ティア

コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富安 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 辻 耕平

TEL 052-918-8254

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第1四半期の業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	2,548	5.2	330	15.3	305	11.0	189	14.0
26年9月期第1四半期	2,422	9.3	286	20.3	275	24.6	166	24.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第1四半期	10.18	—
26年9月期第1四半期	9.13	—

(注)平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
27年9月期第1四半期	10,538		4,568		43.3	
26年9月期	8,913		3,284		36.8	

(参考)自己資本 27年9月期第1四半期 4,568百万円 26年9月期 3,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	5.00	—	7.00	12.00
27年9月期	—	—	—	—	—
27年9月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成26年9月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 東証一部上場記念配当 2円00銭

(注)平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成26年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,146	5.6	654	7.5	628	8.2	403	14.0	20.03
通期	10,000	5.0	1,032	4.0	980	5.9	630	15.0	31.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期1Q	20,167,200 株	26年9月期	18,224,000 株
② 期末自己株式数	27年9月期1Q	1,470 株	26年9月期	1,470 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期1Q	18,642,773 株	26年9月期1Q	18,222,616 株

(注) 平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
前事業年度の期首にこれらの株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や製造業における在庫調整等により、景気の回復基調は弱含んだ環境となりました。また、景気の先行きに対しましては、企業の景況感や雇用情勢の改善等を背景に、回復傾向は持続するものと見られておりますが、消費マインドの低下や為替相場の変動等による不確実性は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々逡増するものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましては、全国の死亡人口が増加していないことに加え、各社の営業施策等により、葬儀件数、葬儀単価共に横這いの推移となりました。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人材教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第1四半期累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現を目指すべく「新生ティア」をスローガンに掲げ、7項目の戦略テーマを推進してまいりました。新規会館につきましては、直営会館として名古屋市内に「ティア滝ノ水」を開設し、これにより直営40店舗、フランチャイズ34店舗の合計74店舗となりました。また、既存会館におきましては、葬儀ニーズの多様化に対応するために「ティア御器所」の改修工事を行い、小規模葬儀に対応した設備を増設いたしました。経費面では、商品改革の一環として、取扱商品や仕入単価の見直しに加え、葬儀に付帯する一部の業務の内製化にも取り組んでまいりました。また、業容拡大に伴う人材確保や、知名度の浸透を図る販売促進等も積極的に実施いたしました。

この結果、売上高は25億48百万円(前年同期比5.2%増)となり、売上原価率は前年同期と比べ1.5ポイント低下し、販管費は前年同期比6.8%増となりました。これにより、営業利益は3億30百万円(同15.3%増)、経常利益では3億5百万円(同11.0%増)、四半期純利益は1億89百万円(同14.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第1四半期累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、堅調に推移する既存店に加え、新たに開設した会館の稼働により、葬儀件数は1,975件(同7.2%増)と順調に増加いたしました。葬儀単価におきましては、祭壇の単価は上昇したものの、送迎バスにかかる契約内容及び取引実態の変更等により、前年同期比3.3%減となりました。この結果、売上高は24億81百万円(同5.3%増)、営業利益は4億69百万円(同8.0%増)となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第1四半期累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ2店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が順調に増加いたしました。また、紙面広告やウェブ広告を活用した新規クライアントの開発も積極的に実施し、この結果、売上高は67百万円(同3.1%増)、営業利益は11百万円(同5.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は30億64百万円となり、前事業年度末に比べ14億30百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が14億18百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は74億74百万円となり、前事業年度末に比べ1億95百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2億5百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、105億38百万円となり、前事業年度末に比べ16億25百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は26億84百万円となり、前事業年度末に比べ2億54百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が2億53百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は32億85百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が77百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、59億70百万円となり、前事業年度末に比べ3億41百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は45億68百万円となり、前事業年度末に比べ12億84百万円増加いたしました。これは主に公募及び第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ5億79百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,133,731	2,552,478
売掛金	244,852	290,989
商品	36,925	45,947
その他	228,587	185,601
貸倒引当金	△10,129	△10,963
流動資産合計	1,633,967	3,064,055
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,793,659	3,884,504
土地	1,291,021	1,291,021
その他(純額)	704,546	818,886
有形固定資産合計	5,789,226	5,994,411
無形固定資産	140,583	137,558
投資その他の資産		
差入保証金	1,047,903	1,039,557
その他	341,600	343,261
貸倒引当金	△40,000	△40,000
投資その他の資産合計	1,349,504	1,342,818
固定資産合計	7,279,314	7,474,789
資産合計	8,913,282	10,538,844
負債の部		
流動負債		
買掛金	313,579	359,316
短期借入金	96,668	350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,206,718	1,292,015
未払法人税等	260,500	77,500
賞与引当金	101,185	52,403
その他	451,671	553,385
流動負債合計	2,430,321	2,684,619
固定負債		
長期借入金	2,595,867	2,672,883
資産除去債務	220,205	231,228
その他	382,534	381,656
固定負債合計	3,198,607	3,285,768
負債合計	5,628,928	5,970,387

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,750	1,159,794
資本剰余金	214,250	793,294
利益剰余金	2,489,634	2,615,633
自己株式	△356	△356
株主資本合計	3,284,277	4,568,365
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	75	90
評価・換算差額等合計	75	90
純資産合計	3,284,353	4,568,456
負債純資産合計	8,913,282	10,538,844

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,422,204	2,548,435
売上原価	1,547,488	1,590,093
売上総利益	874,716	958,342
販売費及び一般管理費	588,435	628,217
営業利益	286,280	330,125
営業外収益		
受取利息	1,909	1,772
受取保険金	2,195	6,337
その他	4,892	5,415
営業外収益合計	8,998	13,525
営業外費用		
支払利息	20,104	17,319
株式交付費	—	16,855
その他	—	4,103
営業外費用合計	20,104	38,278
経常利益	275,173	305,372
特別利益		
固定資産売却益	82	34
特別利益合計	82	34
特別損失		
固定資産除売却損	1,359	203
特別損失合計	1,359	203
税引前四半期純利益	273,896	305,204
法人税、住民税及び事業税	85,500	71,990
法人税等調整額	21,984	43,436
法人税等合計	107,484	115,426
四半期純利益	166,411	189,778

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年12月10日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ502,909千円増加しております。また平成26年12月26日を払込期日とする第三者割当による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ76,135千円増加しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間において資本金及び資本準備金が579,044千円増加し、当第1四半期会計期間末において資本金が1,159,794千円、資本準備金が793,294千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,357,045	65,159	2,422,204	—	2,422,204
計	2,357,045	65,159	2,422,204	—	2,422,204
セグメント利益	434,762	10,815	445,577	△159,297	286,280

(注)1. セグメント利益の調整額△159,297千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,481,265	67,170	2,548,435	—	2,548,435
計	2,481,265	67,170	2,548,435	—	2,548,435
セグメント利益	469,658	11,446	481,104	△150,979	330,125

(注)1. セグメント利益の調整額△150,979千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。